

## 仕事と暮らしの両立に関する情報交換会(9月30日)報告

仕事と暮らしの両立に関し、日ごろどのように工夫しているか共有し情報交換をする会が、9月30日(水)の12:10-13:30に医歯学総合研究棟の大学院講義室1で開かれました。保健衛生学研究科教員を中心として15名の参加があり、3つのテーブルに分かれてうちけた話し合いの会を持つことができました。多くの方が保育園児や小学生の子供を持つ親の立場でしたが、今後の見聞のためにと未婚の方の参加もありました。熊谷二郎先生(分子病態検査学准教授)、吉田祥子先生(分子病態検査学助教)、大木正隆先生(在宅ケア看護学講師)と山本則子(高齢者看護・ケアシステム開発学教授)がファシリテーターを務めました。



内容としては、本学の設備等の課題や希望、地域の子育て支援サービス・資源について、家族内での協力などの話題が出され、多くの情報交換ができました。

### 1) 本学の設備等の課題や希望について

本学の設備等の課題や希望として、搾乳場所に関する課題、病児家庭保育、保育園設置についての希望などが話し合われました。搾乳場所は病棟以外にも設置して欲しい旨の希望が出ていました。特に女性の少ない職場環境では搾乳場所をみつけることが困難な現状が窺われました。病児の派遣保育事業は便利だが料金がやや高いという意見がありました。来年度設置予定の保育園について期待する声が多く聞かれ、特に非常勤職員や大学院生の希望が多いのではないかという話がありました。また、本学において仕事と子育てを両立している教員自体が少ないことを嘆く声も聞かれました。

### 2) 地域の子育て支援サービス・資源についての情報交換

地域の子育て支援サービス・資源については、保育園の待機児についての経験や病児保育・学童保育の限界について情報交換がなされました。自治体によりサービスの充実度や子育て支援に対する姿勢にかなりの違いがあるようでした。自治体に取り組んでいるファミリーサポート事業や、地域の生活協同組合のボランティアグループによるヘルパー派遣などについても情報交換がありました。

### 3) 家庭内での協力体制について

お互いに家庭内でどのように子育てに関する協力体制を組んでいるか話し合いました。実家が近くにある家庭やそうでない場合など、家庭によってさまざまで、皆さん苦勞しながら頑張っておられる様子が伝わりました。

### 4) その他

そのほかキャリア形成の課題、子育ての悩みなど各自の経験談や現状についての問題点についての話題がありました。仕事と暮らしの両立には上司、周囲の理解が大きく影響するという意見が多くありました。